



山岳信仰 | 巨石信仰 | 伝説の名跡

名跡を詣でるタイムスリップ登山へ。

どこから見て同じ姿に見えるといわれる八面山。山中はその逆で、多面的な魅力が満載です。山岳信仰が盛んなった霊山でもあり、巨石信仰の伝説が残る大岩が点在します。いにしえの人々が祈りを込め山へ向かったように、山中の名跡を詣でるタイムスリップ登山をしてみませんか？

修行詣で



山行目安4.5時間  
体力★★★

**八面山を満喫できるロングコース**  
山上の大池から流れる水が幾重もの滝をなす美しい渓谷沿いのコース。途中の鳴子台からは中津市街を望む。やや荒れている箇所もあるため、初心者だけの入山は避けよう。



山行目安2時間  
体力★★

**歩きやすいハイキングコース**  
周防灘を一望できる天空の道展望所を目指すコース。途中、修験の滝に寄ることもでき、滝の周辺では柱状節理や夏にはイワタバコやギボウシが見られる。

タイムスリップ



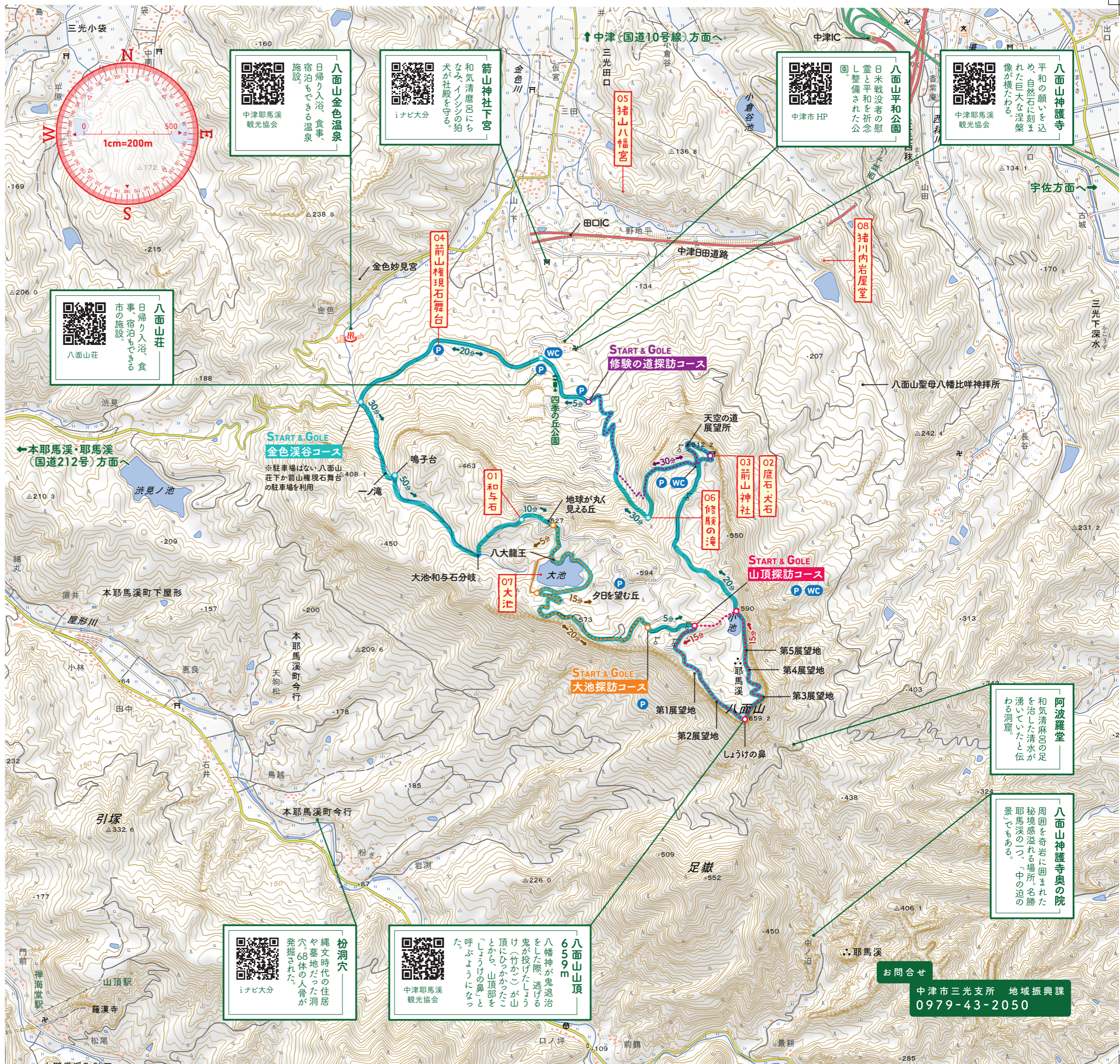
山行目安35分  
体力★

**お手軽に大展望を満喫コース**  
山頂の他に5つある展望地を30分ほどで周遊できる。山頂では、由布岳、鶴見岳、遠くにじゅう連山を望む。物足りなければ箭山神社から歩いてみるのもおすすめ。



山行目安40分  
体力★

**静かな湖畔で自然観察コース**  
山上にある大池遊歩道を周遊するコース。静かな湖畔に響くのは鳥の声だけ。お弁当を持って木陰でのんびり過ごしたい。少し足を延ばせば、和与石や地球が丸く見える丘へも。



# 八面山の神々



和氣清麻呂

奈良から平安にかけての貴族。皇位を狙った僧・道鏡の策略を八幡神のお告げにより阻止した「道鏡事件」で知られる。事件のため天皇の勘気に触れ、足の筋を切られ流罪となるが、八面山の北山麓、猪山のイノシシに助けられ宇佐神宮に参拝できたと伝わる。痛めた足を治した霊水が湧く阿波羅堂が八面山の山腹にあるが、今は湧れていない。

八幡神



仲哀天皇と神功皇后のもとに生まれたとされる第15代天皇。応神天皇の神霊であり、宇佐神宮の祭神。宇佐にある菱形池（現・宇佐神宮境内）のほとりに現れ、祀られた。本来八面山は母である神功皇后を主祭神として祀る山で、母とともに箭山神社に祀られている。源氏の氏神でもあり、歴代将軍が信仰した武神でもある。

法蓮上人

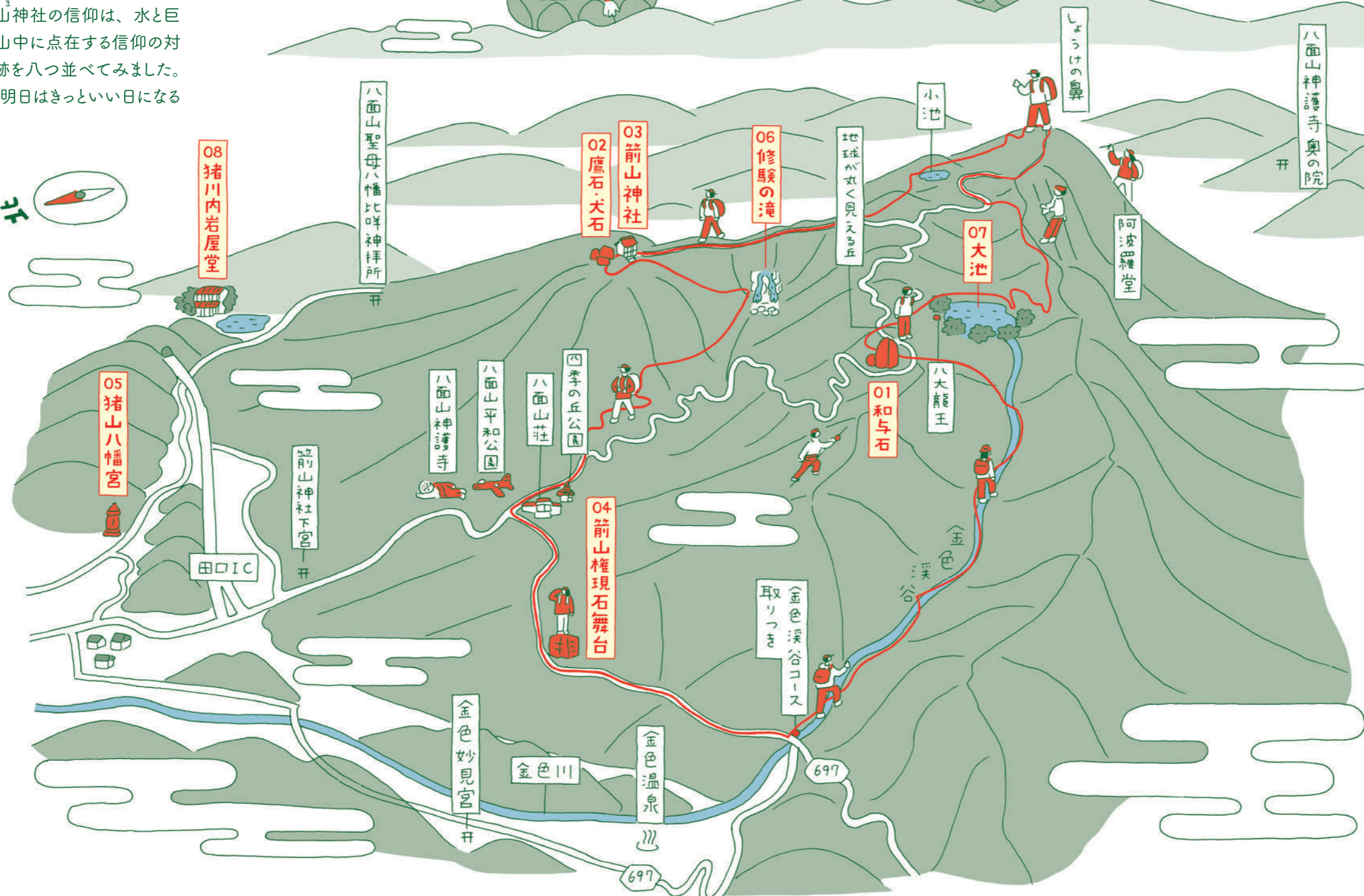


法蓮は彦山で修行していた僧で、彦山の玉屋窟で如意宝珠を手に入れるが、八幡神が神通力でその宝珠を横取りする。法蓮は法力を使ってそれを取り返し、降参した八幡神によって宇佐宮の辺に建立された弥勒寺の初代住職に任ぜられ、英彦山と宇佐八幡宮の仲介的な役も担った。

# 八面山八詣

Hachimengan, Hachimode

八面山はかつて修験道の盛んな山でした。山を御神体としてきた日本で山を深く知るには、山岳信仰を紐解くのが近道です。八面山にある箭山神社の信仰は、水と巨石を基調とした信仰。ここに、山中に点在する信仰の対象となった巨石や池などの名跡を八つ並べてみました。八面山で八詣。全部参れば、明日はきっといい日になるという祈りを込めて。



01 和与石



願いが叶うという宝珠をめぐる争った八幡神と法蓮が和解した場所と伝わる。宝珠を奪って逃げた八幡神を、八面山まで追いかけて叱責した法蓮の声は、四国の石鎚山にまで聞こえたという。八幡神は、法蓮を宇佐神宮の神宮寺の別当に任ずることで宝珠を受け取ったという、神仏習合の歴史も垣間見ることのできる巨石。

02 鷹石・犬石



鷹石・犬石は箭山神社の御神体で、神殿横一帯の巨石群は古代からの信仰対象であり、江戸時代には修験者たちの巡礼の場となった。鷹石は、宝珠をめぐる争いで法蓮に問い詰められた八幡神が、伊予国（愛媛県）から金色の鷹になって犬を連れ八面山に飛び帰り、和解したのちに犬と共にこの石になったという。

03 箭山神社



神功皇后、応神天皇、比売大神が祀られる。御神体は神殿横の鷹石と、神殿南西にある大池。参道左手には、開山を記念して鎌倉時代に建立された大分県最古の角塔婆がある。八面山には昔、箭柄竹が多かった。神功皇后が矢柄の竹を八面山で採ったという言い伝えからも「箭山」とも呼ばれる。

04 箭山権現石舞台



古代巨石信仰の磐座で、五穀豊穡、家内安全、病魔厄除を願い、この岩の上で神楽を舞い、箭山神社に奉納していた。縦19.3m、横13m、周囲57.3m、面積250.9㎡、76坪、畳152枚分の広さで、石舞台としては日本一の大きさを誇る。岩の上に登ると、中津市街地を望むことができる。

05 猪山八幡宮



足の筋を切られ流罪となった和氣清麻呂は、猪山からやってきたイノシシに背負われ宇佐神宮に参拝することができた。その後イノシシが帰って行った場所に和氣清麻呂を祀った。今は箭山神社に合祀され社殿跡が残るのみ。八面山山麓の箭山神社下宮にはイノシシの狛犬がある。

06 修験の滝



山岳信仰の霊山だった八面山は、修験道の行場として栄えていた。当時はこの滝で滝行が行われた。滝をなす川は昔、「祓（はらい）川」と呼ばれており、みそぎが行われていた場所だった。夏になると滝の周辺ではイワタバコやギボウシが見られ、冬には氷瀑を楽しめる。

08 猪川内岩屋堂



クラウドファンディングによって再建された山麓の崖の上に建つお堂。八面山の峰入り行の拠点となっていた場所で、室内からの山の眺めがよく、平安時代の古い木仏と室町時代の石仏が往時を物語る。地域では、弘法大師信仰の「お接待（おこぼさま）」の場所としても守られてきたが、集落の減少とともに朽ち果てていた。2019年、地元有志によりに参道が整備されお堂が復興した。

07 大池



農業用水の溜池で、ここから金色渓谷を経て、山麓の田畑へ水が流れる。山麓が干ばつに襲われた際、中津自性寺の海門和尚が雨乞いをする時、池から女の顔をした龍が現れ、和尚に珠を授け、雨を降らせたという伝説が残る。箭山神社の御神体でもある。